

コニカミノルタグループ 2006年3月期 第3四半期決算説明会

2006年 2月 1日

コニカミノルタホールディングス株式会社

● 本資料の記載情報

本資料におきましては、四捨五入による億円単位で表示しております。

● 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料で記載されている業績予想、将来予想は現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。

本日のご報告の要旨

■ フォトイメージング事業の終了を決定

カメラ: デジタル一眼レフ関連技術及び資産の一部をソニー(株)へ譲渡、
その他は05年度末で事業終了。

- フィルム/印画紙: 07年度上期末までに事業終了。
- ミニラボ: 05年度末で事業終了。
- 人員削減: 07年度上期末までに3,700人削減

■ 05年度第3四半期業績: 売上高は前年同期比5%増ながら 営業利益は44%増益。(売上・利益とも計画達成)

- カラーMFPの販売好調
- TACフィルムの販売拡大
- 医療用機器の販売拡大
- 為替(円安)の影響

カメラ事業及びフォト事業の終了と 今後の計画について

代表執行役社長 岩居文雄

フォトイメージング事業 = コニカミノルタ創業の事業



コニカ

1873年 「小西屋六兵衛店」創業
写真及び石版材料の取扱い開始

- 1903年 国産初の印画紙を発売
- 1941年 国産初のカラーフィルム
『さくら天然色フィルム』発売
- 1977年 世界初の自動焦点カメラ
『ジャスピコンニカ』発売
- 1984年 世界初の無水洗処理方式ミラボ
『サクラナイスプリントシステム』発売

ミノルタ

1928年 「日独写真機商店」創業
国産カメラの製造に着手

- 1937年 国産初の二眼レフカメラ
『ミノルタフレックス』発売
- 1962年 米国初の人間衛星船フレンドシップ7号
の宇宙飛行用カメラとして『ミノルタハイマチック』
が採用
- 1985年 世界初のボディ自動焦点一眼レフカメラ
『7000』発売

2004年 コニカミノルタ フォトイメージング(株)に再編統合

<累計生産>

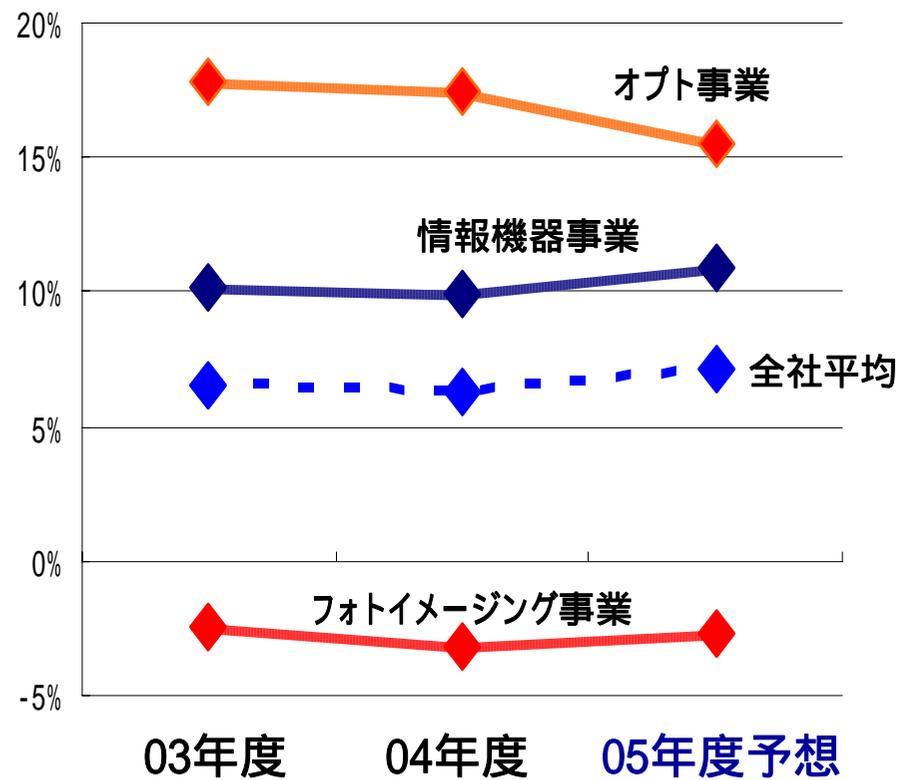
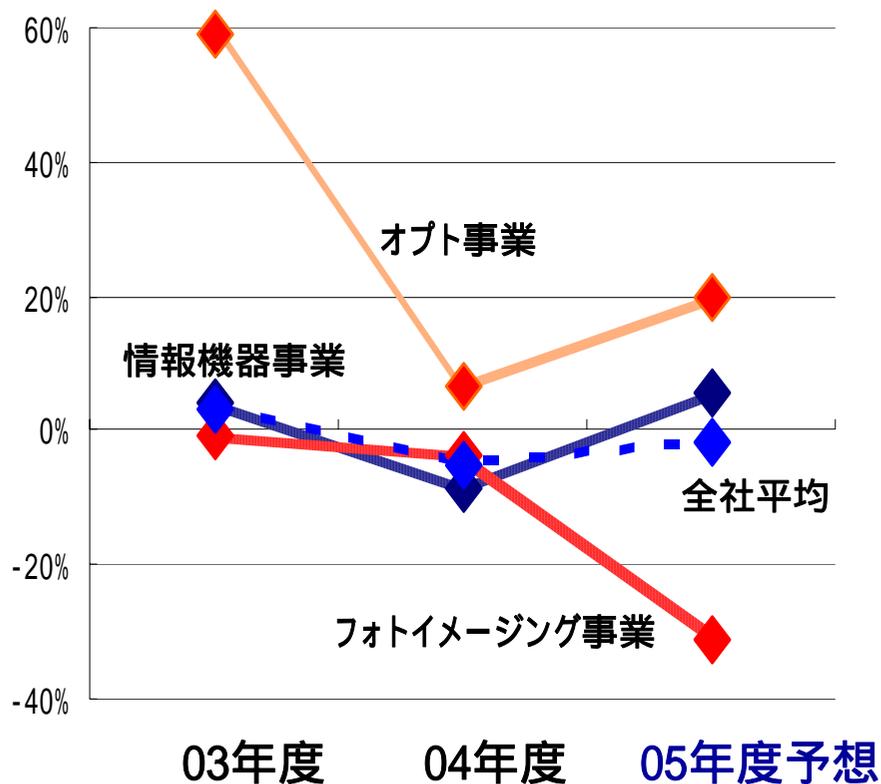
カラーフィルム: 約80億本 一眼レフカメラ: 約3,000万台

広がるグループ事業間の収益性格差

● 売上高成長率の推移

● 営業利益率の推移

フォトイメージング事業は、統合以来売上減少が続き、赤字からも脱却できず



構造改革の最終結論： カメラ事業・フォト事業の終了

事業規模の縮小・適正化では継続的な黒字経営は厳しいと判断

カメラ事業

デジタル一眼レフ： デジタル一眼レフ関連技術及び資産の一部を
ソニー(株)へ譲渡

デジタルコンパクト・銀塩カメラ： 05年度末で事業終了

フォト事業

カラーフィルム・カラーペーパー： 07年度上期末までに事業終了

ミニラボ： 05年度末で事業終了

お客様(ユーザー)への配慮を重視



カメラ事業

レンズの活用: ソニー(株)で レンズと互換性のあるデジタル一眼レフを開発

アフターサービス: コニカミノルタ製・ミノルタ製・コニカ製のカメラ及びレンズ等のアフターサービスはソニー(株)へ委託

フォト事業

カラーフィルム:
カラーペーパー
ミニラボ: お客様のご要望に配慮し、段階的に品種を絞り込む

事業終了後もメンテナンス・アフターサービスは
ノーリツ鋼機(株)等へ委託

販売体制: 地域ごとにお客様への対応を考慮し、段階的に
統廃合を進める

事業終了のスケジュール

05年下

06年上

06年下

07年上

カメラ事業

デジタル一眼

デジタルコンパクト・銀塩カメラ

事業終了

アフターサービスはソニー(株)に委託

フォト事業

カラーフィルム

カラーペーパー

段階的に取り扱い品種を絞込み

生産終了

販売活動終了

ミニラボ

事業終了

メンテナンス・アフターサービスはノーリツ鋼機(株)等に委託

事業終了に係わる費用の内訳

生産拠点の整理
生産設備の減損 } 270億円

販売拠点の整理
事業終了に伴う諸費用 } 450億円

人員合理化に伴う費用 180億円

07年度上期末までに3,700人の人員削減を実施
(含む早期退職500人： 持株会社・5事業会社・2共通機能会社を対象)

合 計 900億円

05年度中に一括処理の予定
(05年度業績には織込み済み)

市場環境の変化に
素早く対応

「選択と集中」の
更なる実践

フォトイメージング事業の経営資源の活用

- 情報機器事業・オプト事業・医療用機器事業の強化
- 新規事業の育成：ディスプレイ分野・ライフサイエンス分野・産業用インクジェット分野

グループ企業価値の更なる向上を目指す

2006年3月期 第3四半期決算概要

(2005年10月～12月 3ヶ月業績)

常務執行役 本藤 正則

連結業績



KONICA MINOLTA

< 参考 >

【億円】

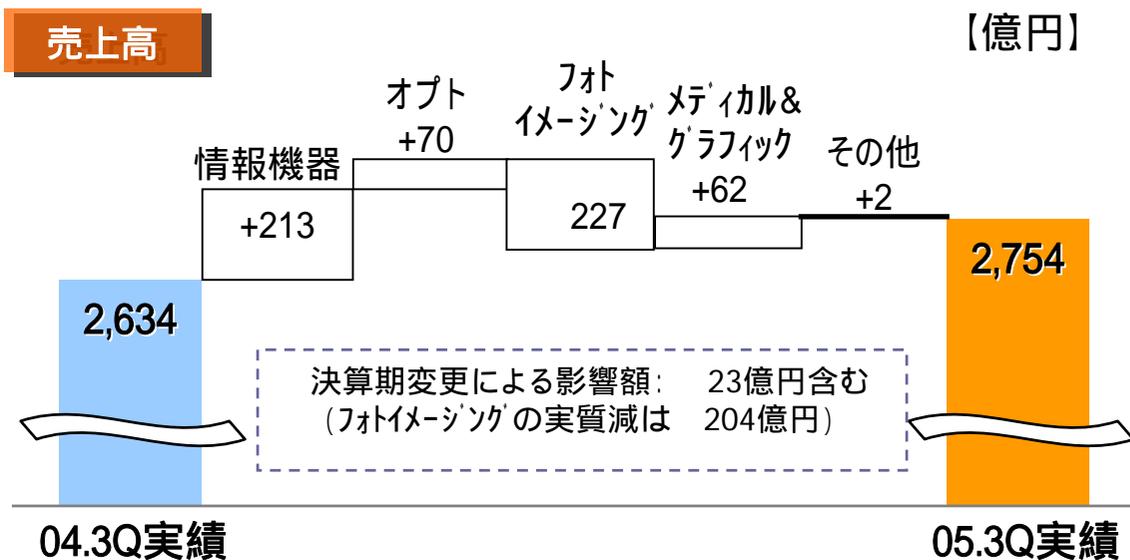
	a 05年度3Q実績	b 04年度3Q実績	a/b 伸張率	c 05年度3Q計画	a/c 達成率
売上高	2,754	2,634	105%	2,730	101%
売上総利益	1,294	1,196	108%	-	-
営業利益	266	185	144%	200	133%
経常利益	291	158	184%	170	171%
税前利益	291	155	188%	150	194%
当期純利益	174	83	211%	70	249%
EPS	32.83	15.58	211%	-	-
ROE (年換算)	19.27%	9.60%	-	-	-
設備投資 (除くレンタル)	180	101	178%	-	-
減価償却費	124	127	98%	-	-
研究開発費	162	158	103%	-	-
P/L為替レート			増減		増減
US \$	117.35	105.96	11.39	105.00	12.35
ユーロ	139.44	137.16	2.28	133.00	6.44

セグメント別 売上高/営業利益

	売上高					営業利益				
	05.3Q 実績	04.3Q 実績	伸長率	05.3Q 計画	達成率	05.3Q 実績	04.3Q 実績	伸長率	05.3Q 計画	達成率
情報機器	1,569	1,356	116%	1,545	102%	177	120	148%	170	104%
オプト	295	225	131%	285	103%	51	40	129%	40	128%
フォトイメージング メディカル& グラフィック	504	731	69%	490	103%	15	14	111%	12	-
計測	12	11	112%	13	91%	3	2	140%	3	88%
HD他	22	21	-	22	-	12	1	-	25	-
グループ計	2,754	2,634	105%	2,730	101%	266	185	144%	200	133%

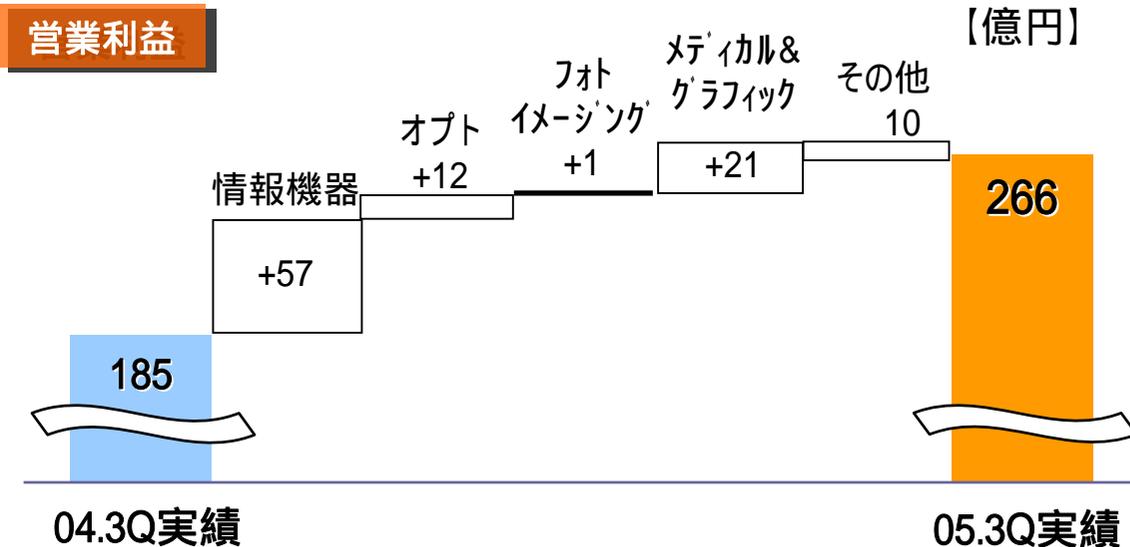
決算期変更による売上影響額: 23億円含む

セグメント別売上高・営業利益増減(対前年)



■売上高: 120億円の増収

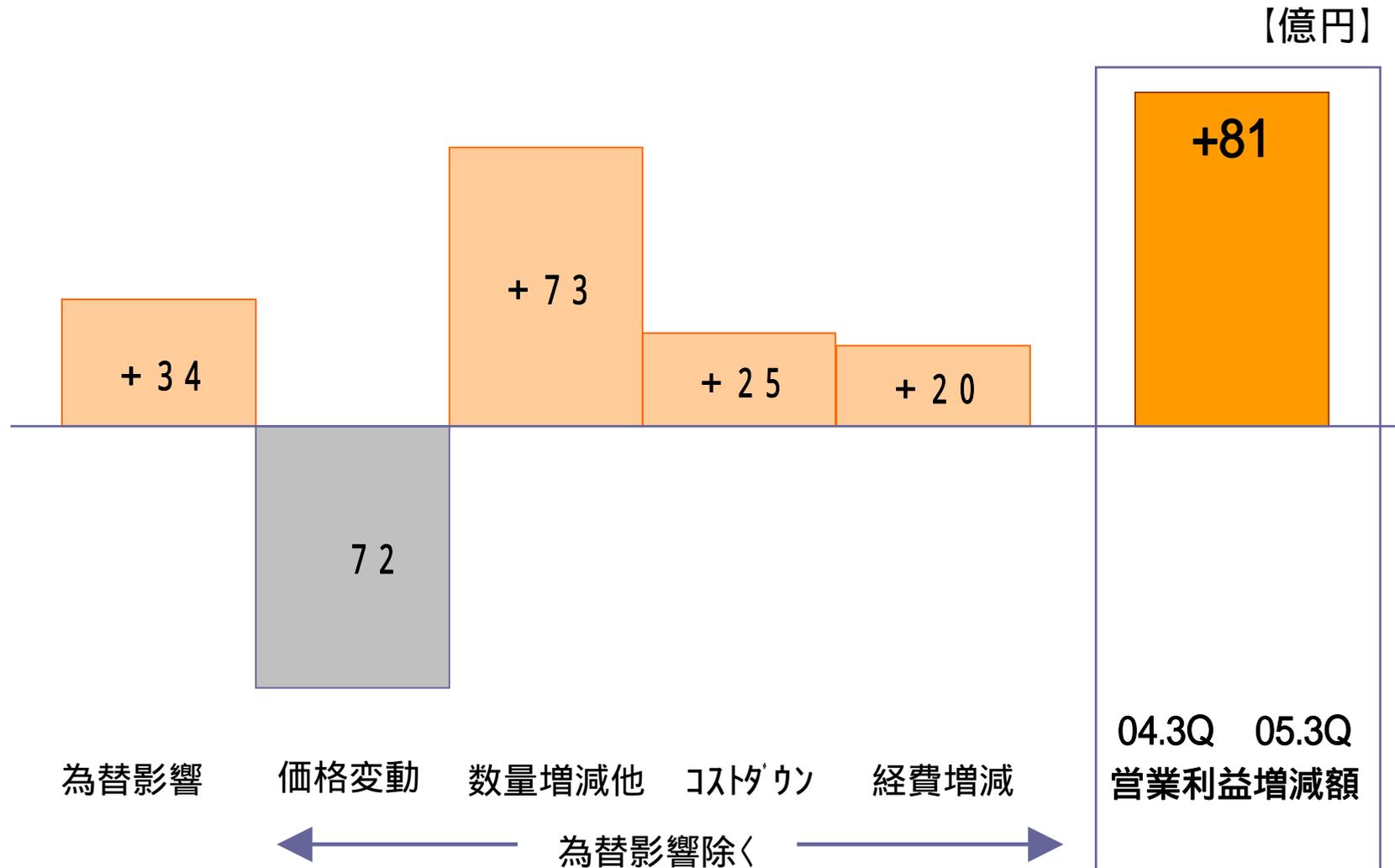
- 事業縮小を進めているフォトイメージングが大きく減収。
- その他の事業は全て増収となりフォトイメージングの減収分を吸収。



■営業利益: 81億円の増収

- 全ての事業で前年比増益。

営業利益増減要因



	05.3Q 実績		04.3Q 実績		05.3Q 計画	
売上高	1,569	1,356	116%	1,545	102%	
営業利益	177	120	148%	170	104%	

【億円】

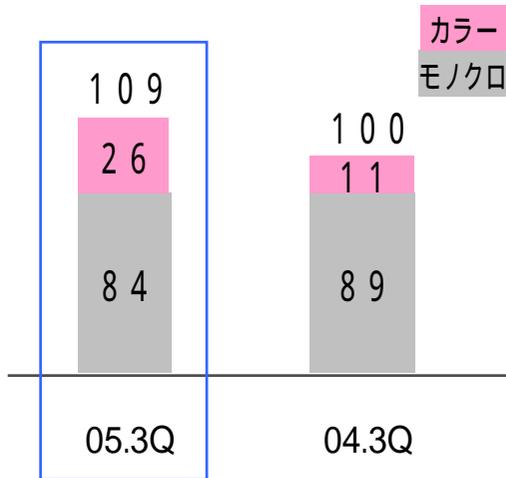
MFP: 増収増益

- モノクロ・カラーのトータル販売台数は対前年9%増。
- カラー機商品ラインの充実により販売拡大 (対前年数量:2.3倍)
- カラー化比率の上昇
Seg2以上: 22% 39%
(全セグメント:11% 24%)
- プロダクションプリント市場向けの高速MFPも好調に推移。対前年同期比:51%増(台数)

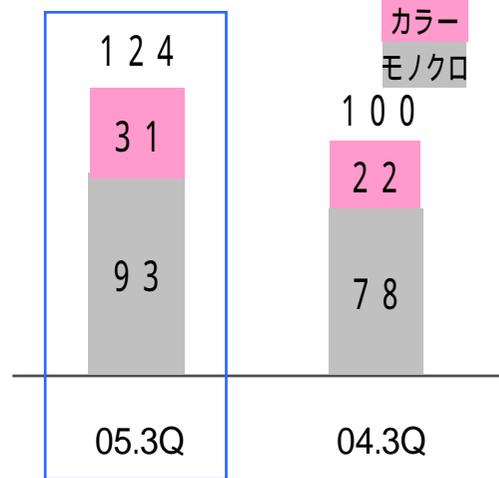
LBP: 売上微増、営業損失解消

- モノクロ・カラーのトータル販売台数は対前年24%増。
- カラー機は、中高速機を含めた順調な伸びに加え、新規OEMの供給開始により対前年40%増(台数)。

MFP本体販売数量

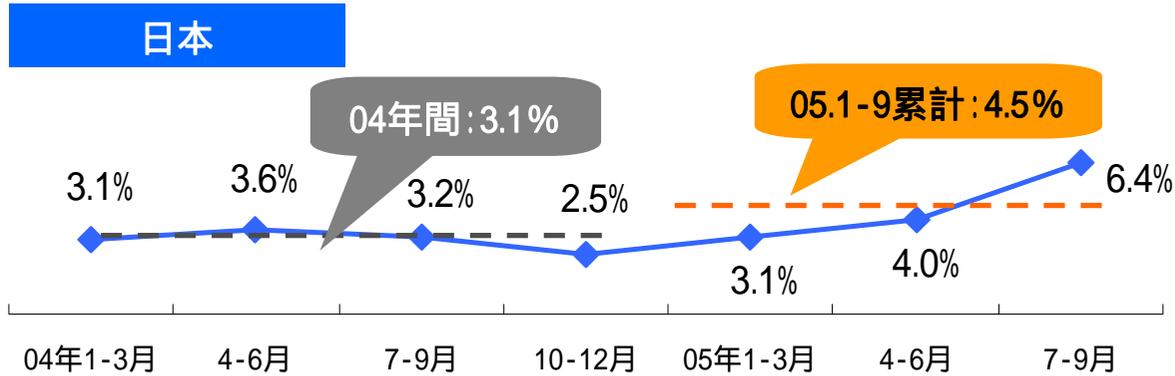


LBP本体販売数量



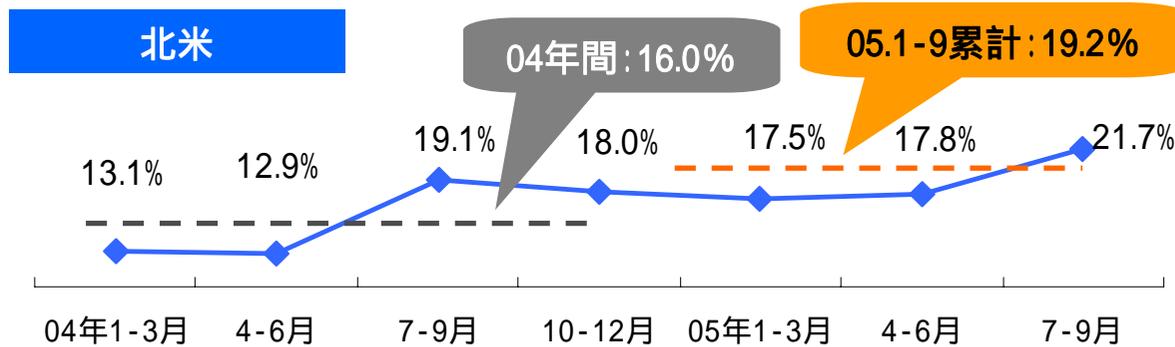
製品販売数量は04.3Qを100とした場合の指数

参考 カラーMFPシェア推移 (Seg2以上・暦年)



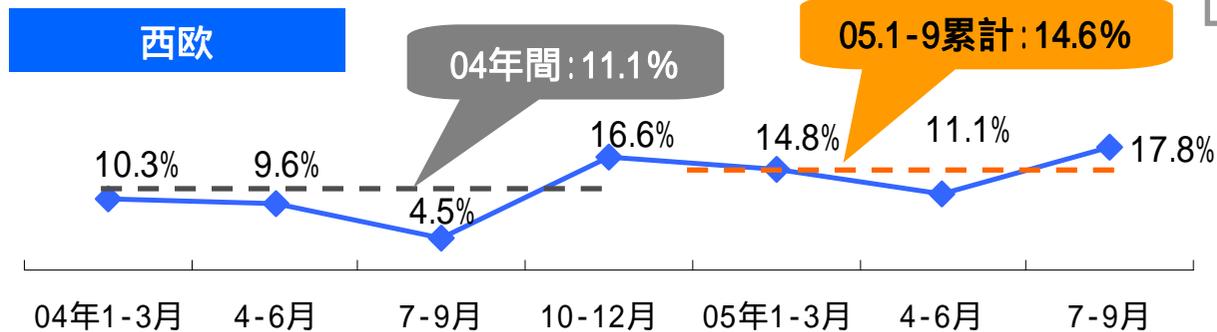
<日本市場>

● FAX機能搭載の新製品を05年より順次投入、序々にシェア拡大中。



<北米 / 西欧市場>

● 商品ラインの充実により順調にシェアを拡大中。



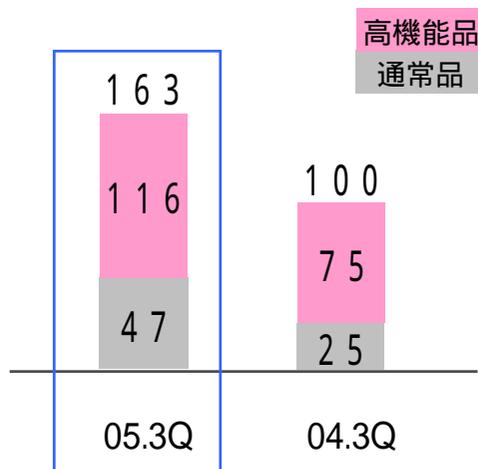
出所: データクエスト

オプト事業

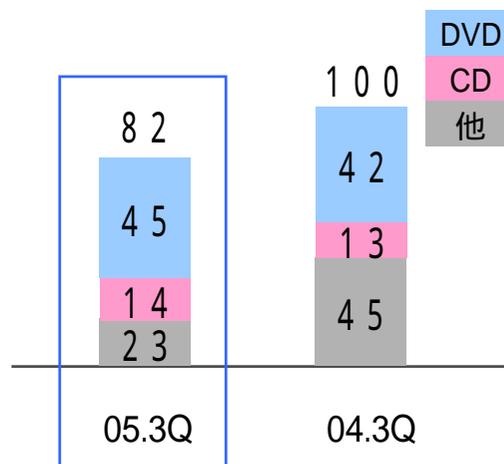
	【億円】		【億円】		
	05.3Q 実績	04.3Q 実績	伸長率	05.3Q 計画	達成率
売上高	295	225	131%	285	103%
営業利益	51	40	129%	40	128%

- TACフィルム: 増収増益
対前年比: 63%増(数量)
➢ 第3ラインの本格稼動により、高機能品を中心に堅調に推移。
- 光ピックアップレンズ: 減収減益
対前年比: 18%減(数量)
➢ CD/DVD用対物レンズは前年並を確保したがコリメートレンズ等は大きく減少。

TAC販売数量



光ピックアップ販売数量



- ガラス製ハードディスク基板: 増収増益
対前年比: 71%増(数量)
➢ PC用・携帯デジタルオーディオ機用の需要拡大が続く。

- 携帯向けレンズ、及びカメラユニット
 - DSCレンズユニット
- 共に増収ながら利益は横這い

製品販売数量は04.3Qを100とした場合の指数

フォトイメージング / メディカル & グラフィック事業 / 計測機器



フォトイメージング

【億円】

	05.3Q 実績	04.3Q 実績	伸長率	05.3Q 計画	達成率
売上高	504	731	69%	490	103%
営業利益	15	14	111%	12	-

決算期変更による売上影響額：2.3億円含む

■フォトイメージング

- フォト**：減収だが黒字確保
 - 需要の減少、不採算取引の峻別により販売規模は前年比大きく減少。
- カメラ**：減収だが黒字確保
 - 一眼レフなどハイエンド製品に絞り込む。

メディカル&グラフィック

【億円】

	05.3Q 実績	04.3Q 実績	伸長率	05.3Q 計画	達成率
売上高	353	291	121%	375	94%
営業利益	33	11	291%	24	137%

■メディカル&グラフィック

- メディカル**：増収増益
 - デジタル入出力機器及びドライフィルムの販売好調。
- グラフィック**：売上、利益ともに横這い
 - 国内はデジタル機器の販売、海外はフィルムの拡販。

計測機器

【億円】

	05.3Q 実績	04.3Q 実績	伸長率	05.3Q 計画	達成率
売上高	12	11	112%	13	91%
営業利益	3	2	140%	3	88%

■計測機器：売上、利益ともに横這い

- 色計測、三次元計測の販売に注力。

販売費及び一般管理費

	a	b	【億円】
	05.3Q実績	04.3Q実績	a-b 増減
販売費及び一般管理費	1,027	1,011	17
販売費	190	215	25
人件費	404	393	11
研究開発費	162	158	4
その他	271	244	27

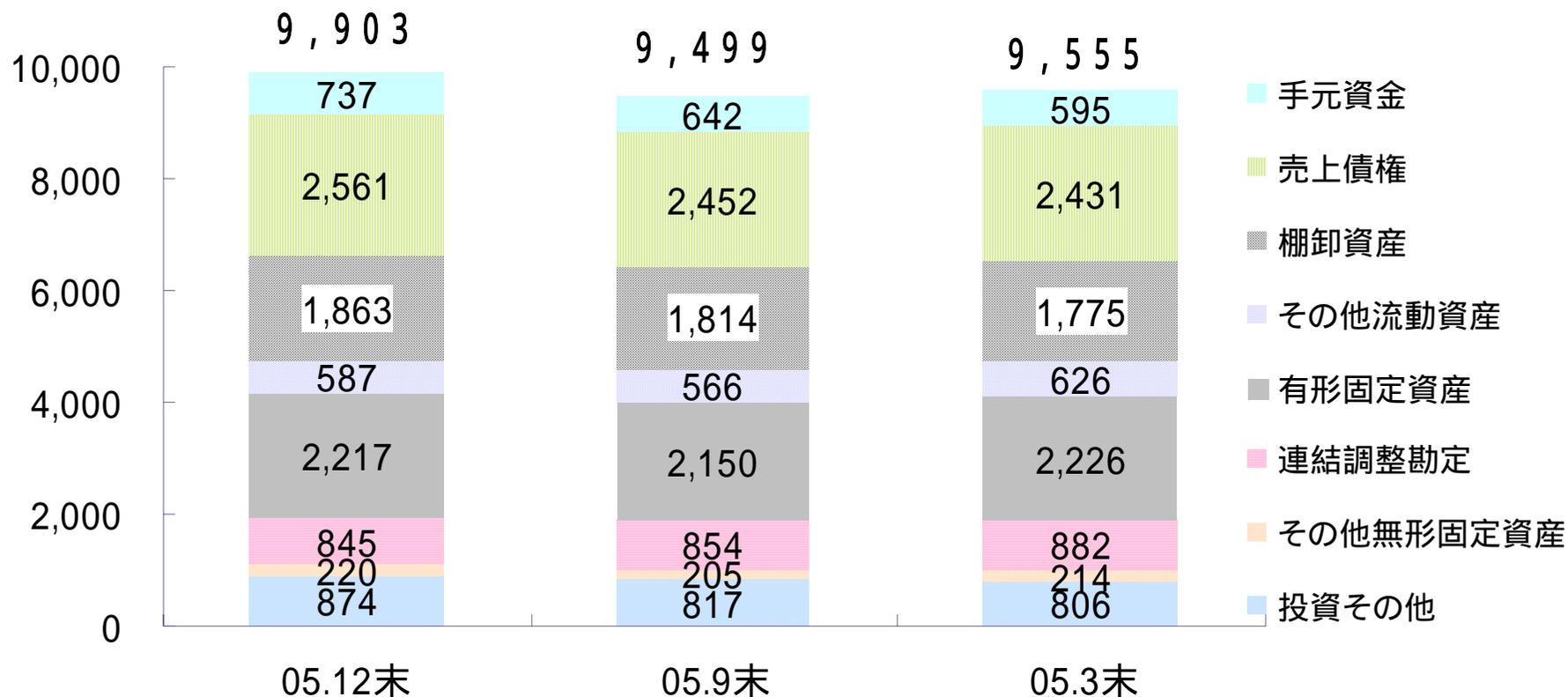
為替影響額： 27億円(実質10億円の減)

営業外収支

	【億円】		
	a 05.3Q実績	b 04.3Q実績	a-b 増減
営業外収支	24	27	52
受取利息・配当金	4	3	1
為替差益	35	0	35
その他	10	17	6
営業外収益計	50	19	31
支払利息・社債利息	14	14	0
棚卸資産評価・処分損	5	1	4
為替差損	0	24	24
その他	7	7	1
営業外費用計	26	47	21

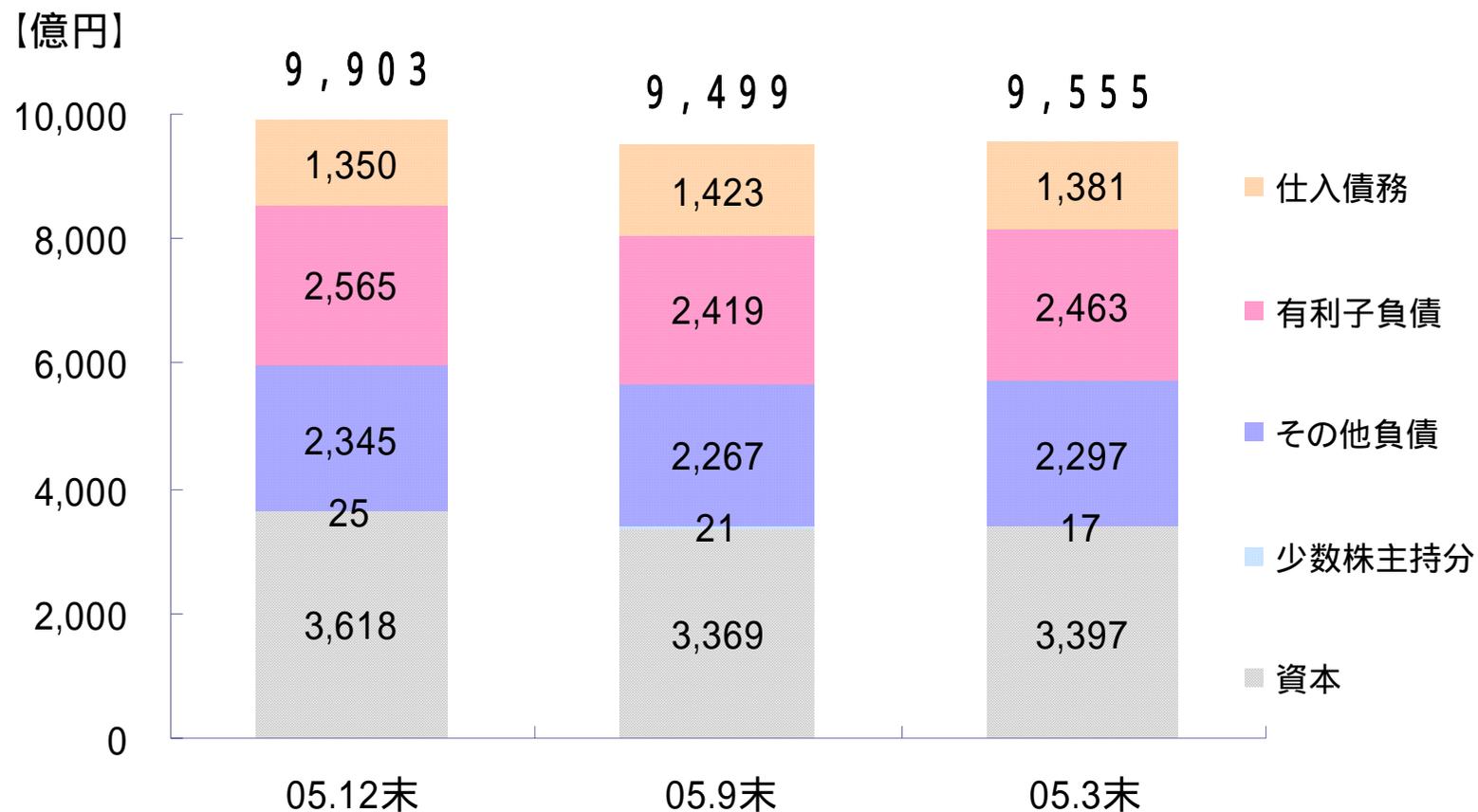
連結B / S (資産)

【億円】



レート \$	118.07	113.19	107.39
円-円	139.83	136.13	138.87

連結B / S (負債・資本)

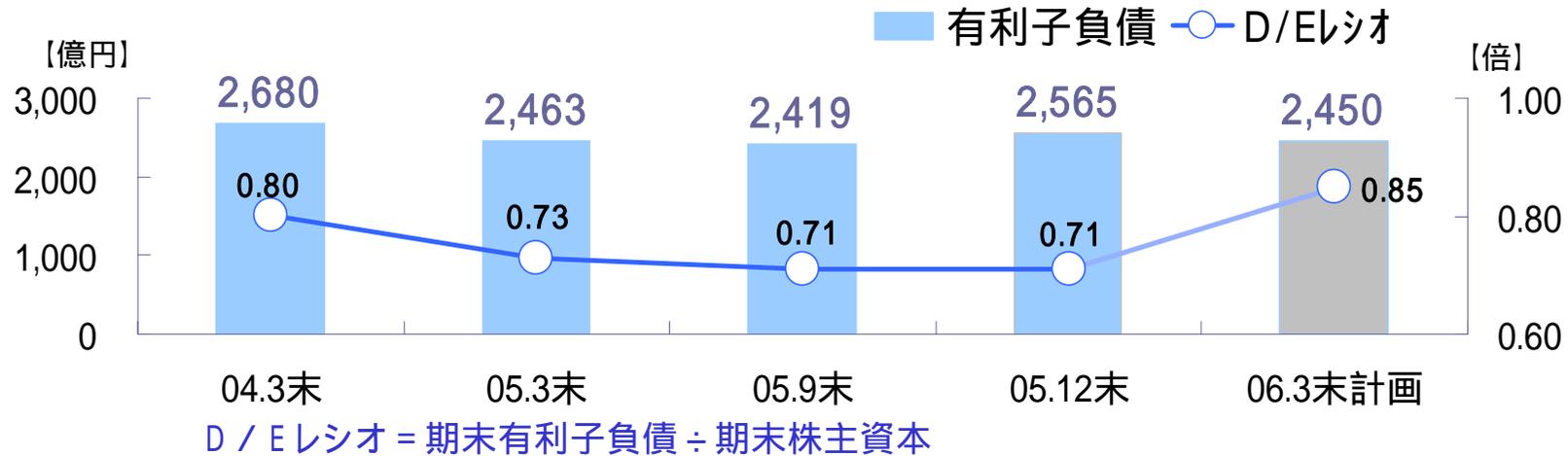


株主資本比率	36.54	35.46	35.56
D / Eレシオ	0.71	0.71	0.73

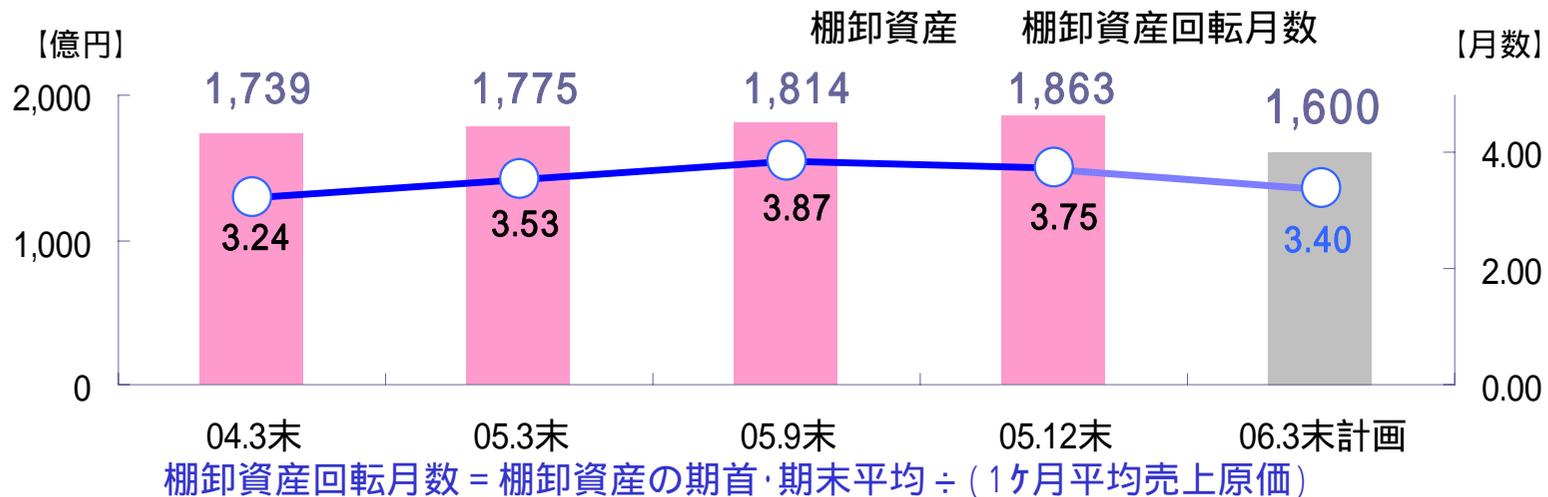
レート \$	118.07	113.19	107.39
1-円	139.83	136.13	138.87

有利子負債/棚卸資産の推移

有利子負債及びD/Eレシオの推移



棚卸資産及び棚卸資産回転月数の推移



キャッシュフロー

	05.3Q実績	04.3Q実績	【億円】 増減
税金等調整前当期純利益	291	155	136
減価償却費	124	127	3
運転資本増減他	303	240	63
営業活動によるCF	113	42	71
投資活動によるCF	130	70	60
+ FCF	17	28	11
借入金・社債の増減	107	53	54
配当金の支払額	0	27	27
その他	0	0	0
財務活動によるCF	107	26	81

通期業績予想



KONICA MINOLTA

【億円】

	05年度			04年度			9ヶ月累計 対前年増減
	通期予想	9ヶ月累計	進捗率	通期実績	9ヶ月累計	進捗率	
売上高	10,500	7,930	76%	10,674	7,985	75%	99%
営業利益	750	660	88%	676	510	76%	129%
(率)	7.1%	8.3%	-	6.3%	6.4%	-	-
経常利益	600	643	107%	536	440	82%	146%
当期純利益	470	139	-	75	165	220%	89%
設備投資(除くレンタル)	650	494	76%	564	369	65%	
減価償却費	580	378	65%	530	379	72%	
試験研究費	690	484	70%	660	481	73%	
FCF	180	98	54%	63	76	-	
P / L為替レート(円)							
US \$	107.24	112.11		107.55	108.56		
ユーロ	134.33	136.10		135.19	134.60		

通期業績予想は11月発表値

通期業績予想 セグメント別一覧



KONICA MINOLTA

【億円】

売上高

	05年度			04年度			9ヶ月累計 前年増減
	通期予想	9ヶ月累計	進捗率	通期	9ヶ月累計	進捗率	
情報機器	5,950	4,404	74%	5,648	4,170	74%	106%
オプト	1,100	810	74%	917	665	73%	122%
フォトイメージング	1,850	1,561	84%	2,685	2,159	80%	72%
メディカル&グラフィック	1,430	1,036	72%	1,299	900	69%	115%
計測	70	40	57%	53	37	70%	108%
HD他	100	78	-	72	54	-	-
合計	10,500	7,930	76%	10,674	7,985	75%	99%

決算期変更による影響額:161億円含む

営業利益

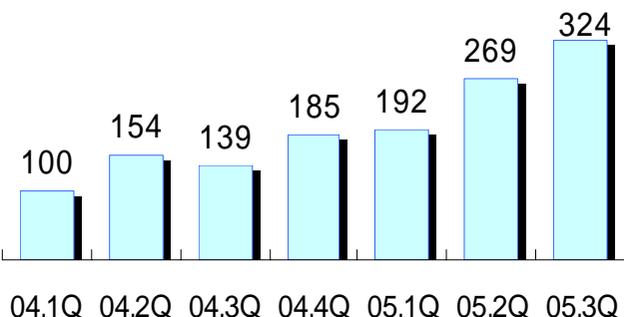
	05年度			04年度			9ヶ月累計 前年増減
	通期予想	9ヶ月累計	進捗率	通期	9ヶ月累計	進捗率	
情報機器	650	458	70%	558	387	69%	118%
オプト	170	130	77%	160	112	70%	117%
フォトイメージング	50	8	-	87	26	-	-
メディカル&グラフィック	110	95	87%	67	54	81%	176%
計測	20	11	57%	16	11	66%	107%
HD他	150	42	-	39	27	-	-
合計	750	660	88%	676	510	76%	129%

【億円】

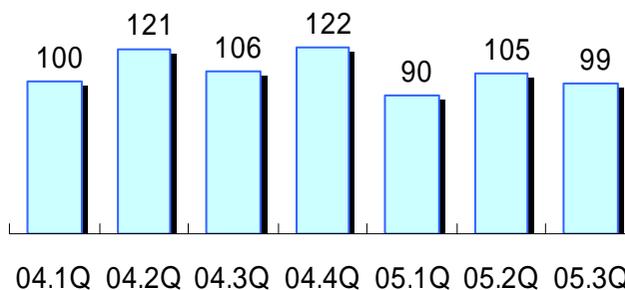
主要製品販売数量トレンド<情報機器事業>

04年度1Q実績を100とした場合の指数

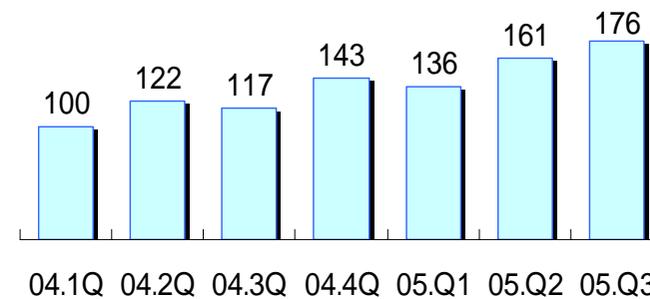
カラーMFP



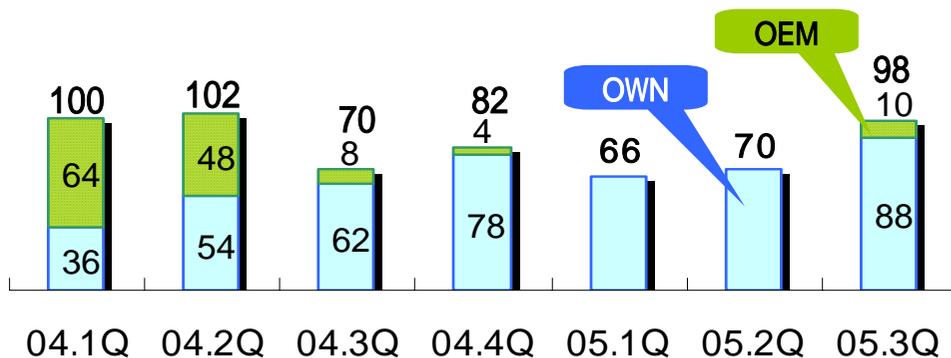
モノクロMFP



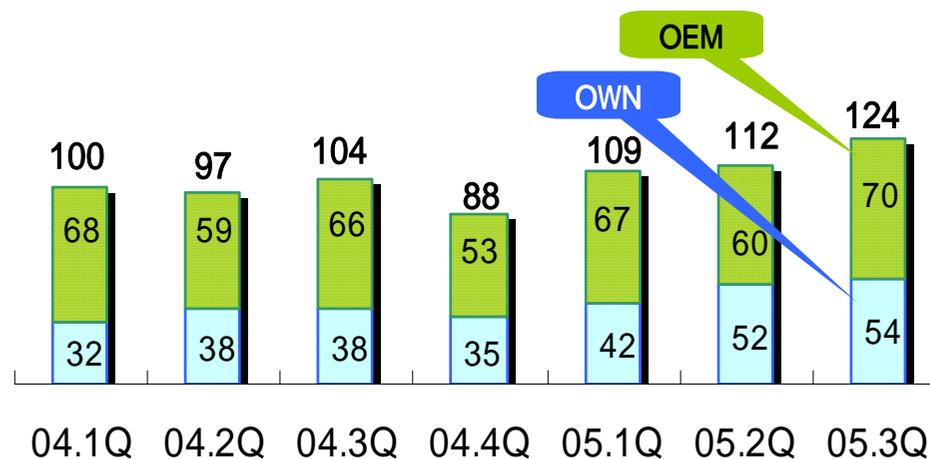
プロダクションプリント(モノクロ・カラー)



カラーLBP



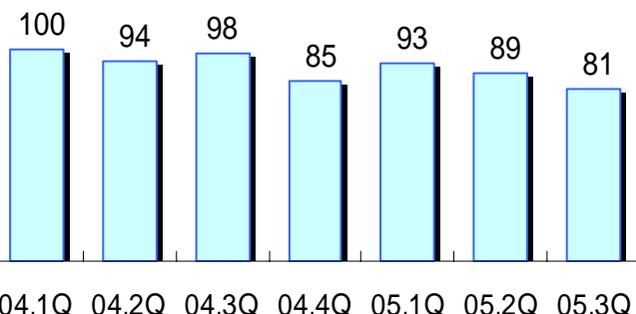
モノクロLBP



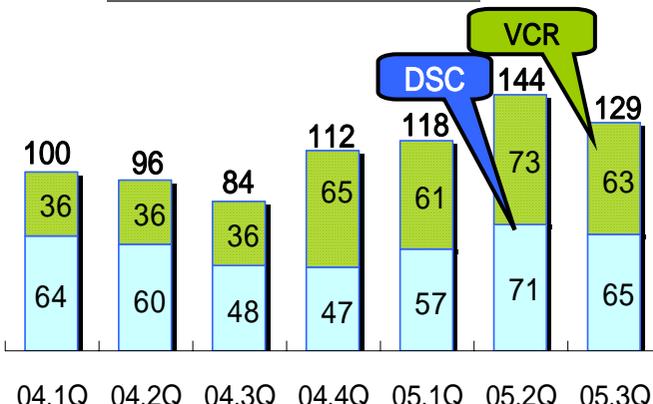
主要製品販売数量トレンド<オプト事業>

04年度1Q実績を100とした場合の指数

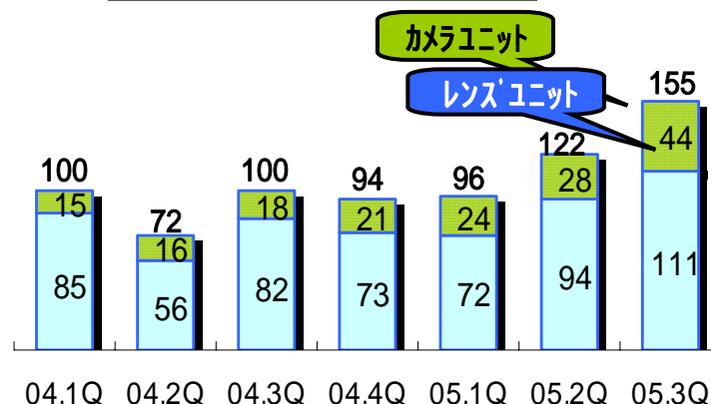
光ピックアップレンズ



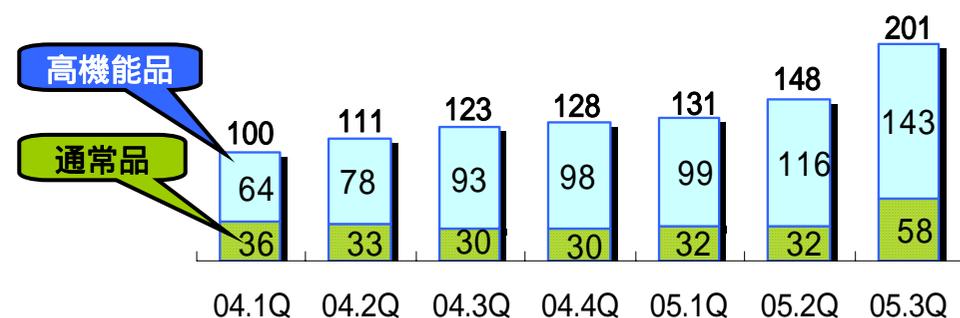
DSC用レンズ'ユニット



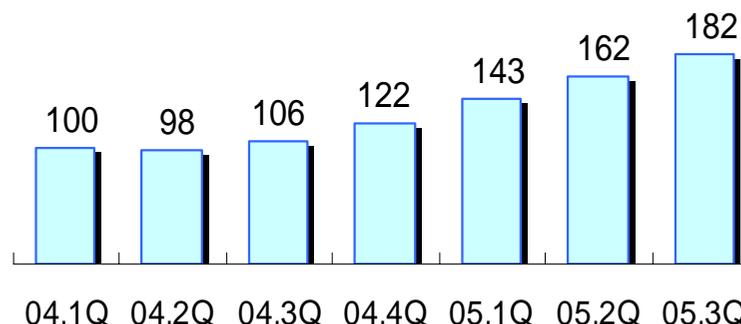
携帯電話用レンズ/カメラユニット



液晶用フィルム



ガラスハードディスク



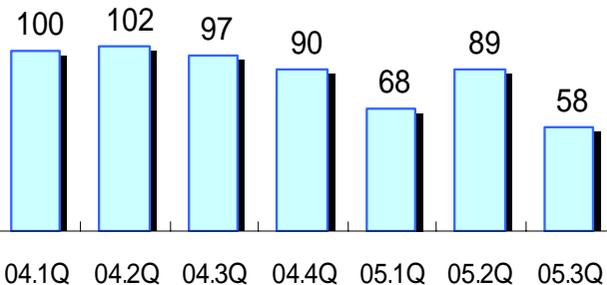
主要製品販売数量トレンド<フotイメージング事業>



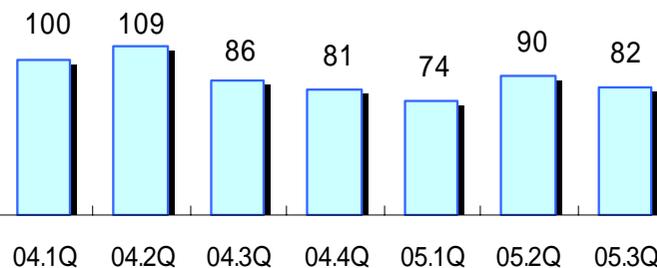
04年度1Q実績を100とした場合の指数

カラーフィルム

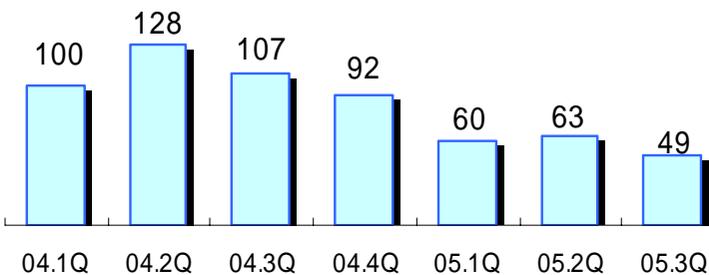
レンズ付フィルム含む



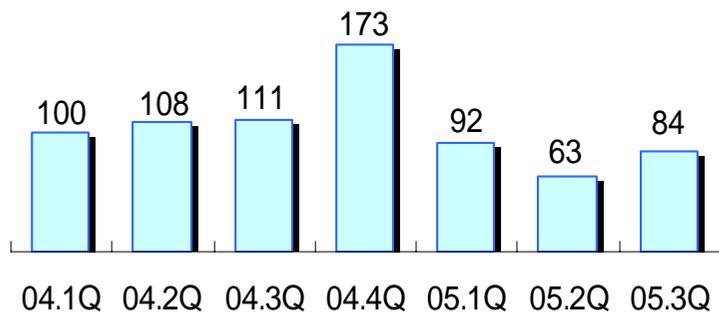
カラー印画紙



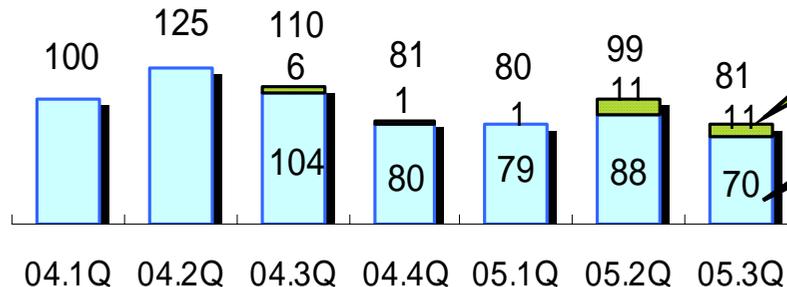
デジタルミニラボ



インクジェットペーパー



DSC



The essentials of imaging